

鈴木茂明（声楽家・合唱指揮者）プロフィール

国立音楽大学大学院ドイツリート専攻修了。1984年、90年ウィーンにてG・カーリー、L・コラー氏に師事。発声構築法とドイツリートの表現法を莊智世恵女史のもとで研鑽を積み現在に至る。

ドイツリートによるリサイタル、オペラ等に出演。2006年にはノーマン・シェトラー氏のピアノによりドイツリートリサイタルを開催（於東京オペラシティコンサートホール・タケミツメモリアル）、及びCD『鈴木茂明ドイツ歌曲集/遙かなる恋人に』（コロムビア）をリリース。また、2015年、CD『シューマン・シューベルト歌曲集』（タクトミュージック）をリリース。邦人合唱曲の分野においては、高田三郎合唱作品の演奏に務め、指揮法及び演奏法を20年余りに亘り作曲者に師事。

1996年、ローマ日本文化会館の招聘を受け、混声合唱団コーロ・ソフィアを率い、イタリア、フランスにて高田三郎と共に高田作品のみによる演奏会の指揮を務め、聴衆に深い感動を与えた。

2004年にはパレストリーナ音楽財団の招聘を受け、ローマ、パレストリーナにて同合唱団を指揮し高い評価を得た。その演奏は、パレストリーナ研究の世界的権威リーノ・ビヤンキ教授、パレストリーナ音楽財団芸術監督ジャンカルロ・ロスティロッラ教授にも絶賛される。1992年、95年には「イスラエル典礼聖歌の旅」（指揮：高田三郎）に副指揮者として、2000年には指揮者として同行。1993年より、高田三郎作品の個展「リヒトクライス演奏会」を毎年主催し、23回目を迎えた。

現在、混声合唱団コーロ・ソフィア、筑波大学混声合唱団、その他の指揮者。声楽。発声構築法指導者。日本演奏連盟会員、日本合唱指揮者協会会員。